

令和4年度 指定管理者年度総合評価表  
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作成日	令和5年6月9日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市なんごうグリーンタウン集会施設		
所在地	八戸市南郷大字市野沢字山陣屋 36 番地 49		
施設概要	設置目的：地域住民の生活向上を図るため、地域活動及び憩いの場として設置 建物構造：木造平屋建 延床面積 249.92 m <sup>2</sup> 大広間、和室等		
指定管理者	名称	グリーンタウン自治会	
	代表者	会長 佐々木 明男	
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字山陣屋 36 番地 49	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理者の業務	(1) 施設使用の許可に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民の協力を得ながら施設内外の清掃や草刈りを実施する等、快適な利用環境整備に努めた。</li><li>・利用者の要望に合わせて開館時間を延長するなど、地域住民が利用しやすいと思える運営に努めた。</li><li>・随時見回りを行い、施設の安全管理に努めた。</li><li>・地域住民に積極的に声がけし、誰もが気軽に利用できる施設運営実施に努めた。</li></ul>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的に利用している団体はもとより、新規の利用団体も快適に利用できるよう、要望等を取り入れながら運営していく。</li><li>・引き続き地域住民のコミュニティ施設として、地域住民の誰もが気軽に利用できるよう、住民とのつながりを強化しながら運営を実施していく。</li><li>・自治会広報や積極的な声がけにより、利用者の増加を図る。</li><li>・引き続き消防訓練等を実施し、地域の防災意識の向上を図る。</li></ul>

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の設置目的を踏まえ、関係法令を遵守し、適正な施設の管理・運営が行われていた。</li><li>・多数のボランティアの協力のもと、施設の環境美化及び保全が図られていた。</li><li>・新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、マスク着用、手指消毒を行い感染防止に努めていた。</li></ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	利用者のニーズに合わせて開館時間を延長する等、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員が配置されていた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）が十分に行われていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、四半期業務報告書、年度事業報告書等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	○	重要事項に変更があった際に、届出が適切に行われていた。（指定管理者の代表者に変更があった。）
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否の事例はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	—	利用者数が前年度を上回り、地域の交流の場として利用されていた。 元年度 739 人 2 年度 298 人 3 年度 243 人 4 年度 332 人（対前年度比 137%） ※地域住民や特定の利用者を対象とした施設であることから、評価の対象外。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	冬季凍結防止のため水道の定期点検を実施するなど、工夫しながら施設の保守管理に努めていた。

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、地元自治会で徴する維持管理協力金や自治会費等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	苦情・要望等を随時聞き取り、運営管理に反映させるよう努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	自治会広報により周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	指定管理者が随時聞き取りを行っているほか、意見箱を設置する等、受付体制が整備されていた。
苦情・要望等への対応	—	事例なし
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水について、声かけや貼紙等で積極的に利用者に周知する等、環境への配慮が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者も円滑に館内を移動できるよう、通路上に物を雑然と置かない等、館内が整理整頓されていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	<b>実施状況</b>
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備、備品等について随時点検を実施し、修繕や消耗品等の補充、交換を行った。</li> <li>・施設周辺の除草、除雪を行い、施設環境の保全に努めていた。</li> </ul>

2 定期モニタリング	
	<b>実施状況</b>
定期報告状況	四半期業務報告書や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
	<b>実施回数</b>	<b>実施日</b>	<b>実施者</b>	<b>実施内容</b>
	1回	4月8日	GL・担当	施設の管理運営状況確認
実地調査状況	<b>実施結果</b>			
	施設や設備、備品等の管理が適正に行われていることを確認した。			

※GL：グループリーダー